

# 水 稲

<中干し後の水管理>

時期	水管理
中干し終了後	浅水・間断かんがい
出穂20日前から出穂20日後	湛水管理(土の表面が露出しない程度の湛水)
出穂20日後から成熟期	間断かんがい

<ニカメイチュウ・イネツトムシ・コブノメイガ>

薬剤名(抜粋)	使用量	使用時期	使用回数
アプロードパダン粒剤	3~4kg/10a	30日前	4回
パダンSG水溶剤	1500倍	21日前	6回

多肥料で過繁茂の田はイネツトムシ・コブノメイガが発生しやすいので注意してください。

<カメムシ>

出穂直前の畔草刈りは、畔草にいるカメムシを水田の中に追い込むことになるので、畔草刈りは出穂2週間前に実施しましょう。

薬剤名(抜粋)	使用量・希釈倍数	使用時期	使用回数
スタークル粒剤	3kg/10a	7日前	3回
スタークル顆粒水溶剤	2000倍	7日前	
トレボン乳剤	2000倍	14日前	3回
エクシードフロアブル	2000倍	7日前	3回
キラップ粒剤	3kg/10a	14日前	2回

<紋枯病>

株元に小判状の病斑が、田全体の20%程度発生があれば薬剤を散布してください。

薬剤名(抜粋)	使用量・希釈倍数	使用時期	使用回数
リンパー粒剤	3~4kg/10a	30日前	2回
バリダシン液剤5	1000倍	14日前	5回

<いもち病>

山間部や毎年発生している水田は、注意しましょう。

22~26℃、多湿・日照不足で多発します。

薬剤名(抜粋)	使用量・希釈倍数	使用時期	使用回数
キタジンP粒剤	3~5kg/10a	出穂7~20日前	2回
ブラシンフロアブル	1,000倍	7日前	2回

## キャベツ・ブロッコリー

近年8月・9月の気温は高くなっています。高温による発芽不良、発芽遅延が予想されますので、寒冷紗等で遮光するなど暑さ対策を行って下さい。

但し、発芽後、寒冷紗で長い期間被覆していると苗は徒長しますので気をつけて下さい。

発芽適温・生育温度

作物名	発芽適温	生育適温
キャベツ	15~25℃	15~20℃

作物名	発芽適温	生育適温
ブロッコリー	25℃前後	15~20℃

## 水ナス

オオタバコガの発生が多い時期ですので、葉・果実・花等で新しい食害痕や虫糞の排出に注意し、その周辺を中心に幼虫を探して捕殺しましょう。

薬剤名(抜粋)	希釈倍数	使用時期	使用回数
アファーム乳剤	2000倍	前日	2回
プレバソフロアブル5	2000倍	前日	2回
プレオフロアブル	1000倍	前日	4回

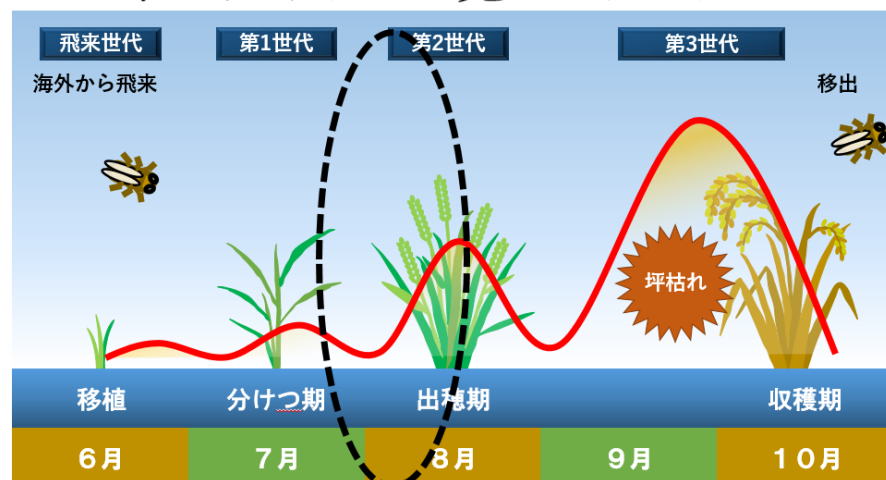
褐紋病にも注意しましょう。圃場内の排水や風通しを良くし、予防防除を心掛けましょう。

農薬使用の基本は、『農薬ラベルの確認・使用方法を守る』『周辺への飛散防止対策をする』『農薬の管理、散布器具の整備を徹底』農薬散布をした際は、その都度生産履歴(防除日誌等)に正確に記帳しましょう。

JA 営農だよりの内容について、詳しくは 各営農センター、営農店舗、指導課 までお問い合わせください。

<トビイロウンカ(秋ウンカ)>

## トビイロウンカの発生パターン



この時期に圃場内のウンカを減らすことが重要です。

中国大陸よりの飛来状況にもよりますが、6月下旬~7月中旬に飛来したトビイロウンカが水田内で世代を繰り返して増殖している可能性がありますので、水田に入り水稲株(100株程度)をかき分けて、株元のウンカ発生状況を確認しましょう。発生が認められたら防除を行いましょう。

薬剤名(抜粋)	使用量・希釈倍数	使用時期	使用回数	備考
トレボン乳剤	1000~2000倍	14日前	3回	※ウンカ類は、幼虫のみ
スタークル顆粒水溶剤	3000倍	7日前	3回	
スタークル粒剤	3kg/10a	7日前		
アプロードパダン粒剤	3~4kg/10a	30日前	4回	※ウンカ類は、幼虫のみ
アプロード水和剤	1000~2000倍	7日前		
エクシードフロアブル	2000倍	7日前	3回	

乳剤、水溶剤等の液剤・粉剤は株元までしっかりかかるように散布しましょう。トビイロウンカは、中国大陸より複数回飛来します。それが定着していれば水田内では発育段階の異なったウンカが混在していますので、一回の防除では不十分で追加の防除も必要になります。

2021年 8月出荷暦							2021年 9月出荷暦						
日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
1	2	3	4	5	6	7				1	2	3	4
8	9	10	11	12	13	14	5	6	7	8	9	10	11
15	16	17	18	19	20	21	12	13	14	15	16	17	18
22	23	24	25	26	27	28	19	20	21	22	23	24	25
29	30	31					26	27	28	29	30		

お盆の連休の出荷予定は、品目によって変更になる可能性がありますので、その都度掲示いたします。

## 里芋

7月中旬以降から9月にかけて芋が急速に肥大します。この時期に乾燥状態が続くと芋の肥大が悪くなり収量に影響します。

一旦萎れてしまうと元には戻りませんので、3~4日に1回程度畝間灌水を行いましょう。

灌水は夕方に行い、朝には水が引いているようにしましょう。

また、ハスモンヨトウ、ハダニ類、疫病の発生にも注意してください。